

一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2025年8月
第241号

もくじ

巻頭言	2
【副会長の皆様】特集記事	3
各部局県士会活動案内・報告	5
お知らせ	14
編集後記	15



千葉県理学療法士会：以下 県士会

URL : <http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス : t.kouketsu@asunarogroup.jp

◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.242 10月号 (9月下旬～10月上旬着) メ切 8月31日
No.243 12月号 (11月下旬～12月上旬着) メ切 10月31日
No.244 2月号 (1月下旬～2月上旬着) メ切 12月31日

No.245 4月号 (3月下旬～4月上旬着) メ切 2月28日
No.246 6月号 (5月下旬～6月上旬着) メ切 4月30日
No.247 8月号 (7月下旬～8月上旬着) メ切 6月30日

❖ 巻頭言 ❖

📦 会長就任のご挨拶



一般社団法人 千葉県理学療法士会
会長 薄 直 宏

千葉県理学療法士会 会員の皆さまへ

このたび、令和7年6月29日に開催されました第9回千葉県理学療法士会代議員総会での理事選任ならびに理事会におきまして、千葉県理学療法士会の会長を拝命いたしました、薄直宏（うすき なおひろ）です。

これまで千葉県理学療法士会を築き、支えてこられた歴代の会長、理事、役員の方々と、そして会員の皆さまに深く感謝申し上げますとともに、千葉県理学療法士会の歩みを受け継ぎ、次へとつなげていく責任の重さを強く感じております。

さて、私がこれまで自分自身の県士会活動を振り返り、感じていることは、「県士会活動に関わることで生まれるつながりと広がり」です。

その思いを「かかわる・つながる・ひろがる」という言葉に込めてみました。

まずは「かかわる」——県士会活動に少しでも興味を持ち、一步を踏み出し参加してみる

すると「つながる」——多様な価値観や経験を持つ仲間と出会う

そして「ひろがる」——自身の視野や可能性が広がっていく

私はこの流れを実感、経験しながら理学療法士として成長してきました。

今後は、「関わってみたい」と思えるような場づくり、「参加してよかった」と思っていただけのような組織づくりを目指していきたいと考えております。

理学療法士を取り巻く環境は日々変化していますが、私たち一人ひとりがかかわり、つながることで、県士会全体がより力強く、そして柔軟に前進していけると信じています。

微力ではございますが、千葉県理学療法士会の発展のために誠心誠意努めてまいります。皆さまの変わらぬご支援とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



❖【副会長の皆様】特集記事❖

📦新体制始動～副会長からのメッセージ～

一般社団法人 千葉県理学療法士会

副会長 高橋 聡



1. 自己紹介・経歴

高齢者総合ケアセンターやすらぎ園勤務

2013年より理事を拝命し、2017年より副会長5期目となります。

ブロック担当副会長として、主にブロック活動の支援と県士会と連携強化に従事しております。

2. 担当分野での抱負

会員同士のつながりを強め、地域課題に応える活動を推進してまいります。ブロック活動を通じて、理学療法士の専門性を地域に根ざした形で発揮できる体制づくりに努めます。

3. 会員へのメッセージ

会員皆さん！ 是非、県士会活動へ参加して、沢山の仲間と繋がってください！



一般社団法人 千葉県理学療法士会

副会長 小川 明 宏



1. 自己紹介・経歴

城西国際大学

理学療法領域の専門は、循環器理学療法や運動生理です。

県士会では2017年より理事、2023年より副会長に就任し2期目となります。

2. 担当分野での抱負

公益事業および職能向上の分野において、会員が活躍できる環境を整え、その力が県民の健康を支える仕組みへとつながるよう尽力します。地域と専門職が連携し、持続可能な実践を広げていくことを目指します。

3. 会員へのメッセージ

皆様の力が未来を創ります。共に歩みましょう！

一般社団法人 千葉県理学療法士会

副会長 小林 好信



1. 自己紹介・経歴

このたび、生涯学習局・学術局の担当副会長を務めることになりました、千葉医療福祉専門学校の小林好信と申します。私は運動器認定理学療法士として、地域理学療法にも携わっております。

2. 担当分野での抱負

これからは、理学療法士の質の保証と自立をめざし、「登録理学療法士制度」の普及に取り組むとともに、県士会学術大会の充実を通して、会員の皆さまの学術活動がより活発になるよう力を尽くしてまいります。

3. 会員へのメッセージ

学術活動にご興味のある方は、ぜひご意見やお力をお貸しいただければ嬉しく思います。どうぞよろしく願います。



一般社団法人 千葉県理学療法士会

副会長 松田 徹



1. 自己紹介・経歴

亀田リハビリテーション病院勤務。千葉県理学療法士会では2016年から理事、2021年に事務局次長、2023年に事務局長を務め、今年度より事務局担当副会長に就任しました。

2. 担当分野での抱負

事務局の役割を「支えるしくみ」から「見えるしくみ」へ。ICT・DXを活用し、誰もが関われる県士会運営を下支えしながら、会員サービスの質と届きやすさを高めていきます。

3. 会員へのメッセージ

一緒に「動かす県士会」、力を合わせて形にいきましょう！

❖各部局県士会活動案内・報告❖

📠事務局 報告

●新入会歓迎セミナー報告

ニュース編集部 額 琢 磨
加藤木 丈 英

令和7年5月18日、千葉県教育会館 大ホールおよび会議室にて開催された「令和7年度 千葉県理学療法士会 新入会歓迎セミナー」に取材参加いたしました。

当日は、卒後1～3年目の方々140名以上が参加。開会では、田中まさし参議院議員（当時）より、理学療法士を取り巻く現状と今後の展望についてご講演がありました。



続いて、田中会長（当時）より、日本理学療法士協会および県士会に入会する意義とメリットが語られ、松田事務局長（当時）からは入会手続きや制度についての説明がありました。



また、小林生涯学習局長（当時）らによる生涯学習制度の解説も行われました。

午後のシンポジウムでは、「入職後、どのように仕事に慣れ、学びを深めていくか？」をテーマに、2年目の理学療法士とプリセプター（教育担当の先輩理学療法士）のペアによる発表が行われました。

登壇したのは、国際医療福祉大学成田病院、東京湾

岸リハビリテーション病院、きぼーるクリニックの3施設です。2年目の理学療法士からは、1年目の過ごし方や休日のリフレッシュ方法についてのリアルな体験が語られ、プリセプターからは新人教育における工夫や関わり方について具体的な取り組みが紹介され、それぞれの立場からの実践的な意見が交わされました。すぐに現場で役立つ内容に、参加者の多くが頷いていました。



セミナーの最後には「新人PTの仕事習得ロードマップ作成ワーク」が各ブロックに分かれて行われました。お互いの作成したロードマップを共有し合いながら、活発な意見交換がなされ、自分の10年後の理学療法士像を、人生のイベントと重ねながら思い描くことで、より具体的な将来像が浮かんだ参加者も多かったようです。

千葉県理学療法士会の未来を支える新人たちの力強い一歩を見ることができました。



●新入会歓迎セミナーに参加して

成田まるめろクリニック 野 口 莉 音

理学療法士になってまだ1年目という立場で、今回千葉県理学療法士会のセミナーに参加しました。入会には迷いもありましたが、認定理学療法士や登録理学療法士の制度、さまざまな勉強会の存在を知り、自分の力を高めていくうえで大きな助けになると感じまし

た。また、グループワークでは他施設で働く理学療法士の方々と交流する機会もあり、「困ったときに相談できる仲間がいる」と実感できたことが特に印象に残っています。さらに、先輩理学療法士の話をする場や質問会などもあり、自分が将来どんな理学療法士になりたいかを具体的に考えるきっかけになりました。



知識や技術不足を痛感することも多いですが、説明会で用紙に自分の目標を書き出したことで、それに向かって努力していこうという前向きな気持ちになりました。今回の説明会を通して、理学療法士としてのキャリアをどのように積み重ねていくかを考えるいい機会となり、今後の仕事へのモチベーションがより高まりました。この経験をきっかけに、これから積極的にさまざまな勉強会に参加し、臨床で経験を積んでいこうと思います。

●新入会歓迎セミナー所感

湯山整形外科 福田 明香梨

今回参加した新入会歓迎セミナーでは、非常に有意義で学びの多い一日を過ごすことができました。まず初めに、日本理学療法士協会の仕組みや生涯学習制度についての説明を受け、理学療法士として今後どのように学びを深めていけばよいのか、1年目の過ごし方も含めて具体的に理解することができました。また、先輩理学療法士の方々の話を聞く中で、どのように技術を身につけていったのか、日々の業務や学習の工夫など、実際の経験に基づいたリアルな経験談を聞くことができ、これからの日々をどう過ごしていくか考える良いきっかけとなりました。



後半はブロックごとに分かれてグループワークを行い、同世代の理学療法士とコミュニケーションを取りながら、自分たちの未来について意見を交わし、考えを深めることができました。その中で、自分が理学療法士として何を目指しているのかを再確認することができ、より明確な目標を持てるようになりました。また、自分が所属するブロックがどのような活動をしているのかを知ることができ、地域ごとの特色や取り組みにも触れることができました。日本の理学療法がさらに発展していくよう、各ブロック同士での交流や学びを大切にしながら高め合っていきたいと感じました。今回のセミナーを通じて、千葉県理学療法士会について詳しく知るだけでなく、理学療法士としての責任や社会人としての心構えもあらためて意識することができました。ここでできたつながりを大切に、仲間と切磋琢磨し、成長していきたいと思っています。

◻田中まさし先生による講習会報告

◎千葉県理学療法士会 政策検討委員会主催研修会

「Shaping Our Future Together!

～共に未来を切り開こう～」開催報告

一般社団法人 千葉県理学療法士会

会長 薄 直 宏

2025年6月12日（木）19時より、千葉県理学療法士会政策検討委員会主催による研修会「Shaping Our Future Together! ～共に未来を切り開こう～」が開催されました。当日は、講師として参議院議員（当時）の田中まさし先生をお招きし、国政の現状や今後の理学療法士の展望についてご講演いただきました。

また、参議院議員の石井準一先生、豊田俊郎先生（当時）、臼井正一先生にもご臨席いただき、それぞれの先生方より理学療法士への期待について心強いメッセージを頂戴しました。



田中先生のご講演は、「国政の現状」「20年間停滞したリハ職の所得とその対策」「これからの未来」の3つの柱で構成されており、以下に私見を交えつつ報告いたします。

1. 国政の現状

田中先生は現在、「リハビリテーションを考える議員連盟」の事務局長、「リハビリテーションに関する小委員会」の事務局長代理を務めておられます。同連盟では、令和7年度の予算編成において「リハビリテーション」の文言が明記される成果がありました。また、小委員会では以下の3つの提案がなされました。

- ・リハ職種の処遇改善
- ・地域包括ケアにおけるリハ職種の参入
- ・人材育成の強化

このように国政の場でリハビリテーションが議論される背景には、理学療法士の資格を持つ議員が与党内に存在していることが大きな意義を持ちます。もし国政に理学療法士が不在であれば、処遇改善や予算獲得に関する議論そのものが困難になります。田中先生は、有資格者として、また与党議員として、私たちの将来をより良くするために日々ご尽力くださっています。

2. 停滞する所得とその要因

次に、田中先生は「過去20年間、リハ職の賃金がほとんど上昇していない」というデータを提示されました。リハビリ介入のニーズは高まっているにもかかわらず、医療保険財政の圧迫により、賃金アップが実現できないという現状があります。

一方で、医師や看護師の賃金は上昇傾向にあり、その差は「政治への関与と予算獲得力」の差に起因すると解説されました。この点からも、政治的な参入がいかに重要であるかを再認識させられました。

3. これからの未来と地域リハビリの重要性

未来の医療を見据えると、約5世帯に1世帯が高齢者の独居となることが予測されています。これにより、急性期の入院は増加し、急性期リハビリへのニーズも高まると考えられています。

また、今後は回復期、地域包括、介護老人保健施設などが連携し「包括期」という枠組みの中で、一人ひとりの高齢者に対してリハビリを提供する体制が構築されていく見通しです。しかしながら、理学療法士の法的な職域は現状「医療」に限定されており、国家資格でありながらも政治の世界では「医療だけの専門職」として捉えられている現実があります。



加えて、20年後には地域医療の医師が半減、看護師も不足するとの推計があり、医療提供体制そのものが維持できなくなる恐れが指摘されました。介護分野においても、2050年には75万人の人材不足が予測されています。田中先生は、こうした未来に向けて「地域リハビリの充実こそが、病院依存の医療を減らし、必要人員の調整を図る鍵となる」と語られました。結果として、医療崩壊の防止や財政の安定にもつながるといふ視座を提示されました。



まとめ

今回の講習会は、田中まさし先生が国政の場に理学療法士として存在することの意味、そして理学療法士の新たな可能性と未来を確信できる大変貴重な機会となりました。ご多忙の中、千葉にお越しいただき、誠

にありがとうございました。

また、このような機会を設けてくださいました千葉県理学療法士会 田中前会長をはじめ、関係各位に心より御礼申し上げます。今後とも理学療法士の未来を共に切り拓いてまいりましょう。

生涯学習局 報告

【生涯学習局について】

生涯学習局 担当副会長 小林 好信

7月より、国際医療福祉大学の竹内真太先生が生涯学習局長に就任され、新体制での活動がスタートしております。前期・後期研修の履修促進に向けて、会員の皆様をしっかりとサポートしてまいります。登録理学療法士の取得を目指し、計画的な履修をお願いいたします。

【卒前卒後教育連携推進委員会より】

生涯学習局 局長
卒前卒後教育連携推進委員会 委員長
竹内 真太

臨床実習指導者講習会の開催を始めてから4年が経過したことを受け、講習会受講者の皆様のブラッシュアップ教育を目的とした臨床実習ブラッシュアップ講習会を8月24日（日）に開催いたします。本講習会では、日本理学療法士協会版OSCEの内容紹介をはじめ、新卒理学療法士の到達目標について検討する演習などを行う予定です。臨床実習指導の質をさらに向上させ、次世代の理学療法士育成に貢献する貴重な機会となります。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【前期研修部より】

前期研修部 部長 高原 剛

前期研修を履修中の今年度入会された会員の皆様、来月よりeラーニングの受講が開始となります。受講方法は、千葉県理学療法士会ホームページの前期研修部のページに記載しておりますので、ご確認いただくと幸いです。また、実地研修の受講申請、受講登録方法も掲載しておりますので、未履修の会員の皆様は

履修を進めていただけたらと存じます。今後も、引き続き前期研修修了に向けて会員の皆様のサポート体制、広報の方法など改善策を検討し、皆様の履修促進につながるよう尽力して参ります。

【後期研修部について】

後期研修部 部長 池田 一樹

今年度も、7月から士会主催症例検討会（後期研修カリキュラムE：領域別事例）を開催しております。次回は8月28日（木）に神経系領域をテーマに実施予定です（申込締切：8月14日）。後期研修履修中の会員の皆様におかれましては、積極的にご参加くださいますようお願い申し上げます。なお、症例検討会の発表者は随時募集しております。千葉県理学療法士会ホームページ理学療法士向けサイトの「生涯学習」→「症例検討会（後期研修）の発表者募集」から症例発表のエントリーをお願いいたします。

学術局 報告

研究支援委員会 委員長 森下 勝行

●研究支援セミナーのご案内

8～9月の研究支援セミナーは下記となります。詳細は千葉県理学療法士会学術局ホームページをご確認ください（<https://x.gd/8wpNV>）。皆様のお申し込みを心よりお待ちしております。

第3回 実践！研究に使える機器の使い方 ～超音波エコー編～

開催日：2025年8月31日（日）
9時～16時10分（受付8時30分～）
場 所：城西国際大学（対面）
講 師：森下 勝行先生（城西国際大学）
大森 康高先生（西川整形外科）

第4回 各領域の理学療法研究のトピック ～運動器障害～ 「バイオメカニクス研究のUp To Date」

開催日：2025年9月26日（金）
19時30分～21時
場 所：web
講 師：遠藤 悠介先生（東都大学）

●学術研究助成（研究費助成）のご案内

会員の皆様の研究活動を支援することを目的に、「学術研究助成（研究費助成）」を実施しております（<https://x.gd/8wpNV>）。皆様からの多数のご応募を心よりお待ちしております。

応募期間：2025年6月1日（日）～8月31日（日）

☑公益事業局 報告

●千葉県障害者スポーツ大会コンディショニングサポート活動報告

障がい者スポーツ支援部 部長 **福田 大輝**
(いんざい整形外科クリニック)

令和7年度千葉県障害者スポーツ大会の水泳・陸上の各会場にてコンディショニンググループを設置・運営したため、活動の様子をご報告いたします。

5月18日（日）に水泳競技（千葉県国際総合水泳場）、5月25日（日）に陸上競技（千葉県総合スポーツセンター陸上競技場）が開催され、延27名の県士会員を派遣し選手対応等実施しました。



活動内容はコンディショニンググループにて選手に対するストレッチやコンディショニング、セルフケア指導の他に、障がい相談や家族やコーチに対しての指導なども行いました。競技場内などを巡回して競技中の事故などにも備えております。

コンディショニンググループ利用者数は延50名を超え来年も利用したいなど多くの声をいただきました。



コンディショニンググループとは別に、障害区分判定の活動も行いました。大会前に障害区分判定を行った選手に対して、実際の競技場面の観察や身体評価を行い、判定した障害区分が妥当なものかを判断します。

障がいには部位や程度によって運動能力に差が出るため、公平に競えるように同程度の障がいのある選手同士で種目などを分ける目的で行うのが障害区分判定です。



千葉県障害者スポーツ大会は9月以降も個人競技や団体競技が続き、県士会として引き続きコンディショニングサポートをしていきます。

10月には滋賀県で全国障害者スポーツ大会も開催予定です。全国障害者スポーツ大会には毎年県士会員を派遣しておりますので、その様子もご報告できたらと思います。



このようなサポート活動に興味のある方は、サポートスタッフ養成セミナーを受講する必要があります。毎年2～3月頃に開催していますので、県士会HPなどでチェックして、是非受講していただき我々と一緒に障がい者のサポートをしていきましょう。皆さんの参加をお待ちしております。

📌職能局 報告

(対話型) 生成AIを使って情報を調べよう。 ～1回目、(対話型) 生成AIを活用しよう～

医療介護保険部 大塚 剛

～はじめに～

最近、(対話型)生成AI(以下、生成AI)という言葉を知りようになりましたがどのようなものかご存じですか? それとも既にご活用されていますか? 今回、医療介護保険部から生成AIを用いて理学療法分野の情報収集(主に行政資料)を主とした活用法、注意点について3回の連載(1、生成AIを活用しよう 2、リハビリ関連情報を調べよう 3、安全に利用するために知っておくべき注意点)をさせていただきますのでよろしく願いいたします。それでは以下、内容を始めていききたいと思います。

①生成AIとは

2022年にOpenAI社が初めて一般向けに生成AI(ChatGPT)のサービスを開始しました。ここから数年で生成AIは対話機能に加え、行える機能、質が飛躍的に向上し、私たちの生活に身近なツールとなりつつあります。そして生成AIは生活の身近な情報から各分野の専門的な情報まで、収集などができる便利なツールとして社会に浸透してきています。

生成AIはスマートフォンなどの端末でURL(ウェブページ)を開き、質問を入力し回答を得るという点では従来の検索エンジン(Google検索やYahoo検索など)と似ています。しかし、従来の検索エンジンがウェブページのリストを表示するのに対し、生成AIは質問の文脈を理解し、整理された文章で回答を生成します。また、質問する時はテキストだけでなく、グラフや画像を添付するとその内容も理解した上で検索結果を表示します(例:観光地等の写真を添付してここはどこですか?と質問すると、この写真は○○で

す。と回答されます)。そして生成AIは通常検索やニュース、天気予報(局地予報含む)、などの一般的な情報から、各業界の専門的な分野(リハビリテーションにおける行政文章等も含む)の検索、資料の要約等を行うことができます。

②生成AIを始める

生成AIのサービスを利用するには、サービスを提供しているサイトからまたはアプリストアからアプリをダウンロード後にアカウントが必要になります。アカウント作成後は、検索エンジンと同様に、質問を入力するボックスに調べたい内容を入力するだけです。すると、質問の文脈に沿って、項目立てて整理された回答が生成されます。

③欲しい情報を得やすくするコツ

生成AIで検索する際には、欲しい情報を得るために自己紹介や検索に条件をつけると、目的の回答が得られやすくなります。実際には自己紹介をして、回答方法にも回答件数や文字数を指定すると目的に合った情報が得やすくなります。実際例:『私は今年旅行に行きたいです。初心者でも楽しめるトレッキングコースを国内で5か所教えてください』などと質問すると、質問に合わせた、国内のコース、5か所で結果が得られます。

・1回目の今回のまとめ

このように生成AIはアカウントの作成後、入力ボックスに質問等を入力するだけで簡単に使え、幅広い質問にも対応できますが、いざ、初めてみるとまず何を検索するの? となってしまうかもしれません。そのような時は、まず挨拶や「今日の私は風邪の症状があるので等」と入力するとAIなりに会話の返答や症状への対処法を答えるのでまず身近な話し相手として使い始めてみるのもいいかもしれません。

📌一般社団法人千葉県理学療法士会

●令和7年度 第2回理事会議事録

日時: 令和7年5月9日(金) 19時00分～20時40分
場所: WEB会議

出席者: <理事> 田中康之、薄 直宏、竹内弥彦

高橋 聡、小川明宏、松田 徹
 桑江 豊、大住崇之、藤井 顕
 高杉 潤、中村亮太、竹内真太
 川村雄輔、小林好信、渡辺政基
 深田 亮、森下勝行

〈委任状〉森田悠介

〈欠席〉三和真人

〈部長〉山崎 敦、畠中良輔、太田直樹
 高原 剛、西本浩子、江戸優裕
 米澤 卓、菅野央倫、松尾 洋
 大山隆人、室井大佑、大塚 剛
 福田大輝、高木秀明、池田一樹
 額額琢磨

〈監事〉西山晴彦、松川基宏、児玉美香

〈相談役〉吉田久雄

〈委員長〉内村 元

〈事務局〉奥村龍之、長谷川直子

〈書記〉菊池俊明

1 報告

1) 会長報告及び三役局長会議報告

田中会長より、4月11日から本日までの以下の行動概要及び三役局長会議にて議案調整等行われたことについて報告された。

2) 事務局会議報告

①パート職員採用

長谷川直子氏を新たに採用したことが報告された。

②奥村氏の役職・給与対応

今年度は「主任」とすることで決定。今年度は定期昇給のみとし、今年度中に給与表の見直し、管理職区分や手当について検討方針。

③ホームページ管理

修正は各局対応が必要な状況。

④新入会歓迎セミナー

申込89名（5／7時点）。県内参加者が多数。

⑤理学療法週間広報イベント

公益事業局・職能局関連部局、ブロック対象のアンケートを実施し、2025年度中にすでに企画している地域・一般市民向けのイベントや公開講座等にて、日本理学療法士協会の広報物の配布が行う企画を進めている。

⑥令和6年度予算残金の返還スケジュール

5月26日～6月6日の期間内で実施する旨を配信済

み。回収後、全てのブロックと「口座名義が個人名で口座使用が私用のものと混在している」方の口座管理は事務局が一括して行う方針。

⑦新代議員メーリングリスト登録状況

登録完了したため、総会案内（第1報）を配信した。

⑧財務管理の外部委託にむけたヒアリング準備

毎日学術フォーラム社へヒアリング予定（5月20日）。出納・経理の範囲と発生するコスト、高橋会計事務所との業務上の棲み分けが論点となる。

⑨総会準備

監査日程を調整済み（6月4日）。総会資料整理は事務職員中心に開始する。

⑩Zoomライセンス契約

22ライセンスから16ライセンスへ削減して契約更新済み。

3) 公益事業局進捗

①高校野球について

現状について報告され、会員が関与する活動としてリスク・責任範囲について議論された。

「PTとしてではなくボランティアとしての参加」も選択肢とすべきと提言された。

②備品の貸与について

以前作成した備品リストの活用として、ルールを作成し、公益事業局内で運用を進められるよう準備を進めている。

③新規事業の拡大について

今年度、スポーツ支援部が部よりスポーツクラブ等に声掛けを行い新規の活動を実施している。手続き上の問題で、依頼状等の取り交わしのない状態で実施に至っているため、新規の活動に当たるルールを作成し公益事業局内での運用の準備している。

活動の法的・倫理的側面や保険適用に関して明確なルール作成が必要との意見が出された。

4) 第31回千葉県理学療法学会進捗報告

Web運営は株式会社CAVに委託決定したこと等について報告された。

2 協議事項

1) 山長夷ブロック 城西国際大学での実技セミナーについて

山長夷ブロックで企画しているブロック向けの実技セミナーを会場となる城西国際大学ホームページへ掲載することについて協議され、了承された。セミナー

はあくまで「ブロック内会員」が対象である方針も再確認された。

3 審議事項

1) Microsoft Teamsの契約について

理事会・局会議の効率化と資料共有の円滑化のため、Microsoft Teamsの契約はソフトバンクと結ぶことについて、賛成多数にて承認された。

(30アカウントの年間料金；ソフトバンク213,483円、ドコモ249,084円)

2) ブロック運用規程について

ブロック運用規程の改正について、任期や資格要件の変更（やむを得ない事由でブロック長が選任される場合の条件など）やコアメンバーの人数上限の明確化等が追加され、賛成多数にて承認された。

3) 学術研究助成事業規程の改正について

学術研究助成事業規程の改正について、「研究助成に関わるスケジュール」の一部を修正し、賛成多数にて承認された。

次回：令和7年度第3回理事会

日時：令和7年6月13日（金）

会場：Web会議

以上

●令和7年度 第3回理事会議事録

日 時：令和7年6月13日（金）19時00分～20時40分

場 所：WEB会議

出席者：〈理事〉田中康之、薄 直宏、竹内弥彦
高橋 聡、小川明宏、松田 徹
桑江 豊、大住崇之、藤井 顕
高杉 潤、中村亮太、竹内真太
三和真人、森下勝行、川村雄輔
小林好信、深田 亮

〈委任状〉森田悠介、渡辺政基

〈監事〉松川基宏、児玉美香

〈委員長〉内村 元

〈事務局〉奥村龍之

〈書記〉菊池俊明

1 報告

1) 会長報告及び三役局長会議報告

田中会長より、5月9日から本日までの以下の行動概要及び三役局長会議にて議案調整等行われたことについて報告された。

2) 政策検討委員会主催の研修会報告

日 時：令和7年6月12日（木）19時15分～20時15分

場 所：千葉市文化センター5階セミナー室

テーマ：Shaping Our Future Together!

～共に未来を切り開こう！

講 師：参議院議員 理学療法士 田中 まさし先生

参加者：129名

3) 事務局会議報告

議題1：県士会ニュースの進捗報告

・県士会ニュース6月号が発刊され、HPにも掲載済み。

議題2：ホームページ管理の進捗報告

・Webサイトの更新は順調に行われている。一方で、アクセス解析ツールにバグが発生しており、現在業者による修正待ちの状態である。

議題3：全国一斉 理学療法週間広報イベント進捗

・日本理学療法士協会からポスター等の広報物が届いたため、各ブロック等へ郵送する。

議題4：令和6年度 予算残金の返金手続き進捗

・個人の口座と会の口座が混合しているケースが想定より多く、事務局対応負荷が高くなるため、県士会予算の専用口座で適切に運用されている部署は、そのまま継続運用とする。

議題5：財務管理 外部委託関連

・議論内容：財務管理の外部委託について、毎日学術フォーラム社に見積もりを依頼済み。

8月の理事会で委託先を正式に確定する方針とする。

議題6：県士会事務所パソコン買替に関する見積確認・購入決定の検討

・奥村氏より提示された見積書（DELL製PC2台及びメモリ増設、合計¥296,340）を確認。

メモリを標準の8GBから16GBに増設する工夫により、2台分の予算内で購入可能であることが報告された。購入を進める。

議題7：Microsoft Teams 導入準備状況進捗

・導入業者（ソフトバンク）へは発注済み。今後、新理事体制が確定してからアカウントを付与する流れとなる。7月～8月の2ヶ月をかけて導入・浸透させる計画（利用ルール（チャンネル作成方針等）を策

定する。

議題8：代議員総会にむけた準備

・総会当日までに向けた準備、総会のタイムテーブル、総会前後の理事会開催等について共有が行われた。

議題9：次期体制での定款の見直しについて

・現行の定款と各種規程との整合性に課題があるなどの問題認識から、新体制にて定款の見直しを実施する方針である。主な変更点として、代議員の任期・選任方法、選挙規定、理事・代議員の定数などが挙げられた。

4) 令和7年文化の日 千葉県功労者表彰について

今年度の千葉県功労者表彰については推薦を見送り、来年度の体制で対応することが確認された。

5) 第19回JIMTEF 災害医療研修アドバンスコース推薦について

JIMTEF災害医療研修アドバンスコースの参加者として八角順平氏を推薦することが承認された。八角氏は既に災害支援実績があり、適任と判断された。

6) 令和6年度監査報告

6月4日に実施された監査の結果、業務執行・会計いずれも適正と認められた。財務体制の強化、各局の予算執行状況の改善、ブロック活動との整合性なども進展があったと評価された。今後も新体制において持続可能な組織運営と事業評価視点を持った運用が求められるとの所見が述べられた。

2 協議事項

1) 新入会歓迎セミナーの振り返り

5月18日に開催されたセミナーについて報告が行われた。参加者数にはブロック間で格差があり、次年度の課題とされた。養成校の教員参加については、若手とのつながり形成に寄与した一方で、一部養成校では教員不在で「寂しい」と感じる声もあった。

2) 令和7年度県士会表彰式について

司会進行は藤井委員長、表彰サポートは児玉監事、撮影はニュース編集部が担当することが確認された。表彰対象者は、永年勤続者表彰者5名、感謝状表彰者7名、特別功労賞1名、功労賞3名。

3 審議事項

1) 県士会監事の推薦について

次期監事が定数に満たないため、児玉美香氏、松川

基宏氏の2名の推薦及び、現任の西山監事相談役への就任について賛成多数にて承認された。

2) 次期相談役について

現任の相談役である吉田久雄氏、宮前信彦氏の次期相談役の就任の依頼について、賛成多数にて承認された。

3) 千葉県リハ専門職協会が受託した研修会の実行委員選任について

千葉県高齢者福祉課より受託した「介護予防人材育成研修」の実行委員として、千葉県理学療法士会から2名、千葉県作業療法士会・言語聴覚士会からも選出し、実行委員会形式での運営が承認された。実行委員選任について、千葉県千葉リハビリテーションセンター地域支援センターの職員であり県士会員でもある太田氏と宮澤氏の推薦について、賛成多数にて承認された。

4) 卒前卒後教育連携推進委員会からの審議事項

臨床実習指導者講習会世話人認定申請のあった佐川裕也氏（千葉・柏リハビリテーション学院）について、賛成多数にて承認された。

5) 香取海匝ブロック義肢装具情報シート試行運用について

高橋ブロック担当理事より、香取海匝ブロックにて「装具情報シート」の試行的運用を検討中であることが説明され、試行運用に向けて準備を進めることについて承認された。装具情報シート完成後、理事会報告の後、試行運用開始の方針となった。

次回：令和7年度第4回（総会前）・5回（総会中）・6回（総会后）理事会

日時：令和7年6月29日（日）

会場：千葉県保健医療大学

以上



❖お知らせ❖

●第31回千葉県理学療法学会 学会参加の“はじめの一步”

準備委員長 平野 康之
(東都大学理学療法学科 教授)

こんにちは。第31回千葉県理学療法学会準備委員長の平野です。

本学会のテーマは「未来へ育む はじめの一步」になります。経験のある方は本学会への参加が次のステージにつながる“はじめの一步”に、また、経験のない方は、本学会への参加が何かを始めるきっかけやヒントを得る“はじめの一步”になればと思っています。

学会参加に求めるものが何かによって“はじめの一步”は個々に異なると思いますが、私が考える学会参加の“はじめの一步”は以下の5つです。

1. 自己投資（研鑽）の“はじめの一步”
2. 研究の“はじめの一步”
3. キャリア形成の“はじめの一步”
4. 仲間づくりの“はじめの一步”
5. 漠然とした現状打破の“はじめの一步”

今、まさにこの一步を踏み出そうかどうか迷っている方もいるのではないのでしょうか。

本学会は気軽に参加しやすく、多くの学びや気づきにつながる学会を目指しています。明確な目標がある方ばかりではないと思いますが、何かを成し遂げるためにはその一步を踏み出す勇気が必要で、行動に移さなければなりません。失敗や恥をかくことを恐れず、とにかく小さな一步でも踏み出してみてください。我々はその一步をより大きく、力強い一步に変えられるように寄り添い、支援をいたします。

ちなみに、私の学会参加の“はじめの一步”は左右色の違う革靴を履いて発表するという恥ずかしく、悲しい第一歩でした。発表は何とかできましたが、気が気ではなく、すぐに会場を後にしたことを思い出します。この恥ずかしい第一歩から、日々の整理整頓、余裕を持った準備・確認の大切さを学び、今では準備委員長を任せていただけるまでになりました。

研究を始めたい方、さらに上を目指したい方、明確な目標が見出せない方など、現状を変えたいと思っている方はぜひ本学会に参加して新たな第一歩を踏み出してみてください。みなさんの“はじめの一步”がこの第31回大会になれば幸いです。

第31回千葉県理学療法学会 公式SNSアカウント情報



X



Instagram



Facebook

◆ 編集後記 ◆

●新体制に

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

暑い日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部 部長の纈纈です。会員の皆さま、いつも県士会ニュースをご覧いただきありがとうございます。

さて、今号は巻頭から千葉県理学療法士会の役員が新体制となり、千葉県理学療法士会の新たな会長である薄 会長に就任の挨拶を巻頭言とし、副会長に再任されたお二方と、新任のお二方から自己紹介をいただきました。

薄 会長より、「関わってみたい」と思えるような場づくり、「参加してよかった」と思っていただけのような組織づくりを目指していきたい。とありました。

そして、副会長の皆様からは『参加・繋がる・未来を創る・共に歩む・お力をお貸しいただく・動かす・力を合わせる』など、こうした思いのもと、私たち

ニュース編集部も、千葉県内の理学療法士の方々が『千葉県理学療法士会の活動に参加したい!』、『力を合わせて、県士会を盛り上げたい!』と欲していたようにニュースを作成していきたいと思えます!!

今号も最後まで読んでいただき、ありがとうございました。



今回のニュース原稿の締め切りは
令和7年8月31日です!

千葉県理学療法士会は働きやすい職場づくりを応援しています

困ったときは相談窓口(外部)へ

[千葉県理学療法士会外部相談窓口紹介ページ](https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html)

<https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html>



問い合わせ先

- 千葉県理学療法士会ホームページ
<http://www.chiba-pt.org/>
- 求人広告のお申込・お問い合わせ
chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp
- ニュース編集部
部長 纈 琢 磨
t.kouketsu@asunargroup.jp

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 田 中 康 之

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1
千葉中央ツインビル1号館1005号室

Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066
(電話対応の詳細はHP参照)

Mail chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

編集部 部長 纈 琢 磨

医療法人社団 君津あすなろ会
小見川あすなろクリニック

〒289-0314 千葉県香取市野田280-1

Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684
Mail t.kouketsu@asunargroup.jp